

## 殺菌剤

# ストロビー<sup>®</sup>フロアブル

®=BASF社の登録商標



殺菌剤分類 **11**

有効成分

クレソキシムメチル

(PRTR・1種) ..... 44.2%

登録番号：第21987号

性 状：類白色水和性  
粘稠懸濁液体

毒 性：普通物\*

有効年限：4年

包 装：1ℓ×12本

\*普通物：毒劇物に該当しないものを指している通称

## ■特長

- 有効成分のクレソキシムメチルはきのこの一種から発見された抗菌活性物質に由来するストロビルリン系殺菌剤です。
- 各種作物のうどんこ病菌、べと病菌のほか、ねぎのさび病菌など、重要な病害に幅広い活性が認められます。
- 予防効果にすぐれ、また各種病害の孢子形成を強く阻害するためほ場における病害の蔓延を効果的に防ぎます。

## ■適用病害と使用方法

(2024年2月28日現在)

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クレソキシムメチルを含む農薬の総使用回数
麦類 (小麦を除く)	うどんこ病 赤かび病 赤さび病	2000～ 3000倍	60～ 150ℓ /10a	収穫14日前まで		散布	
小麦							
やまのいも	葉渋病	2000～ 3000倍	100～ 300ℓ /10a	収穫7日前まで	3回以内	無人航空機 による散布	3回以内
		24倍	3ℓ /10a				
やまのいも (むかご)		2000倍	100～ 300ℓ /10a			散布	
		24倍	3ℓ /10a				

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クレソキシムメチルを含む農薬の総使用回数							
きゅうり	うどんこ病 べと病 褐斑病 炭疽病	3000倍	100～ 300ℓ /10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内							
きゅうり(花)	うどんこ病 べと病 褐斑病			収穫開始 3日前まで	2回以内		2回以内							
すいか	炭疽病 つる枯病 うどんこ病	2000～ 3000倍		収穫前日まで	3回以内			3回以内						
メロン	べと病 うどんこ病 つる枯病													
かぼちゃ	べと病 うどんこ病	3000倍		収穫7日前まで					収穫3日前まで	2回以内				
にがうり														
うり類 (漬物用)	うどんこ病 つる枯病 べと病 炭疽病			うどんこ病					収穫前日まで	2回以内		2回以内		
ズッキーニ														
なす	うどんこ病 すすかび病			うどんこ病 黒枯病					収穫前日まで	3回以内		3回以内		
ピーマン														
とうがらし類 (ししとうを除く)	うどんこ病		4000倍	収穫前日まで		2回以内			2回以内					
ししとう	うどんこ病 黒枯病													
はくさい	黒斑病 白斑病 べと病		3000倍	収穫3日前まで	3回以内	3回以内								
たかな	白斑病							収穫7日前まで	2回以内			2回以内		
非結球はくさい														
なばな類	白さび病	3000～ 4000倍	収穫前日まで	2回以内	2回以内									
	すいぜんじな							黒斑病	収穫14日前まで					
タアサイ	白さび病	3000倍	収穫前日まで	3回以内	3回以内									
のざわな	べと病								収穫14日前まで					
非結球レタス	褐斑病								収穫3日前まで					
いちご	うどんこ病	3000～ 5000倍	収穫前日まで	3回以内	3回以内									
にら にら(花茎)	さび病 白斑葉枯病	3000倍												

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クレソキシムメチルを含む農薬の総使用回数
ねぎ	黒斑病 さび病 黄斑病	2000倍	100～ 300ℓ /10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内
わけぎ	灰色かび病	3000倍		収穫21日前まで	2回以内		2回以内
たまねぎ		2000～ 3000倍	収穫14日前まで	3回以内	無人航空機 による散布	3回以内	
		10倍					0.8ℓ /10a
		20倍					1.6ℓ /10a
		40倍					3.2ℓ /10a
たまねぎ	灰色腐敗病	2000倍	100～ 300ℓ /10a	3回以内	無人航空機 による散布	3回以内	
		10倍	0.8ℓ /10a				
		20倍	1.6ℓ /10a				
		40倍	3.2ℓ /10a				
にんにく	さび病	2000倍	100～ 300ℓ /10a	収穫7日前まで	無人航空機 による散布	3回以内	
		8倍	0.8ℓ /10a				
		16倍	1.6ℓ /10a				
		32倍	3.2ℓ /10a				
葉にんにく		2000倍	100～ 300ℓ /10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内
らっきょう	乾腐病	200倍	－	植付前	1回	30分間 種球浸漬	1回
にんじん	黒葉枯病	2000～ 3000倍	100～ 300ℓ /10a	収穫7日前まで	3回以内	無人航空機 による散布	3回以内
	斑点病	3000倍					
	黒葉枯病 斑点病	16倍					
てんさい	葉腐病	2000倍	100～ 300ℓ /10a	収穫21日前まで	3回以内	散布	2回以内
	褐斑病	2000～ 3000倍					
たらのき	そうか病	2000倍		収穫75日前まで	2回以内		2回以内

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クレソキシムメチルを含む農薬の総使用回数	
アスパラガス	斑点病	2000倍	100～500ℓ /10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内	
食用ゆり	葉枯病			収穫7日前まで				
パセリ	うどんこ病	3000倍	100～300ℓ /10a	収穫14日前まで	1回		1回	
しゅんぎく	炭疽病			3回以内	3回以内			
しそ科葉菜類(しそを除く)	灰色かび病			2回以内	2回以内			
しそ	斑点病	4000倍	100～300ℓ /10a	収穫7日前まで	2回以内		2回以内	
	灰色かび病	3回以内		3回以内				
モロヘイヤ	炭疽病	3000倍	100～300ℓ /10a	収穫前日まで	2回以内		3回以内	
セルリー	斑点病			3回以内				
チャービル ディル(葉)	うどんこ病			2回以内	2回以内			
さやえんどう 実えんどう	さび病			収穫前日まで		2回以内		
茶	もち病 網もち病	2000倍	200～400ℓ /10a	摘採10日前まで	3回以内	散布	3回以内	
	炭疽病 輪斑病 新梢枯死症	2000～3000倍						
食用金魚草	さび病	3000倍	100～300ℓ /10a	収穫7日前まで	2回以内		2回以内	
食用トレニア	うどんこ病	4000倍		収穫3日前まで				
食用パンジー				収穫7日前まで				
食用西洋たんぽぽ				収穫45日前まで				
食用かえで(葉)	白さび病 黒斑病 褐斑病	3000倍		収穫3日前まで	3回以内		3回以内	
食用ぎく				収穫7日前まで				
きく(葉)	2000～3000倍	3000倍		100～700ℓ /10a	発病初期		3回以内	3回以内
きく								
アスター	さび病							
りんどう	黒斑病 褐斑病	2000倍	100～700ℓ /10a	発病初期	3回以内	3回以内		
たばこ	赤星病	3000倍	100～180ℓ /10a	収穫5日前まで	2回以内	2回以内		

# マイナー作物等の登録拡大に伴いグループ化した作物名

グループ化した作物名	含まれる作物(品種)
うり類(漬物用)*	赤毛ウリ、食用ひょうたん、食用へちま、しろうり、漬物用すいか、漬物用まくわうり、漬物用メロン、とうがん、はやとうり、ゆうがお
とうがらし類	甘長とうがらし、かぐらなんばん、きだちとうがらし、ししとう、とうがらし、ハバネロ、ピーマン、ピカンテ
しそ科葉菜類	えごま(葉)、オレガノ、しそ、セージ、タイム、バジル、はっか、レモンバーム、ローズマリー

\*うり類(漬物用)は従来の作物群の作物名

農薬登録における作物群の作物名について(2021年1月14日改正)「農薬の適用病害虫の範囲および使用方法に係る適用作物等の名称について」(2019年3月29日付け30消安第6281号農林水産省消費・安全局農産安全管理課長通知)農林水産消費安全技術センターホームページをご参照ください。

<http://www.acis.famic.go.jp/shinsei/6281.pdf>

表の使用に際しては以下の事項に留意してください。

注1 現在、農薬の適用作物には含まれていない作物を含みます。適用作物に含まれていない作物については、農薬登録時にその名称が変更される場合があります。

注2 品種名及び栽培条件(施設栽培等)等については省略している場合がありますが、農薬登録時に品種名又は栽培条件等の指定がある場合は、当該品種又は栽培条件等にのみ使用できるものです。

## ⚠ 効果・薬害等の注意事項

- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 浸漬後の薬液は、河川等に流さず、水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 使用に当たっては容器を良く振ってください。
- 散布液調製の際は、水をかきまぜながら本剤の所定量を徐々に加えてください。
- 薬剤耐性菌の出現を防ぐため、本剤の過度の連用はさけ、なるべく作用性の異なる薬剤との輪番で使用してください。
- 小麦に対して希釈倍数500倍で散布する場合は、少量散布に適したノズルを装着した乗用型の速度連動式地上液剤散布装置を使用してください。
- いちごの施設栽培で施設内が高湿多湿な場合は、薬害を防ぐため散布後十分な換気を行ってください。また、特に散布後高温が予想される場合は使用しないでください。
- 浸透性を高める効果のある展着剤を混用すると薬害を生じる場合があるので、展着剤混用に当たっては事前にその適否を確認してください。
- メロンに使用する場合、交配～幼果期までの散布では薬害を生じることがあるので、この時期の散布はさけてください。
- きくに使用する場合には、高温多湿条件下では薬害を生じる場合があるので使用しないでください。
- きくに使用する場合には、他剤との混用で薬害が生じる場合があるので注意してください。
- はくさいに使用する場合には、結球後期(あたまとし)までの散布で薬害が生じる場合があるので、使用をさけてください。
- はくさいに使用する場合には、高温多湿条件下では薬害を生じる場合があるので、使用をさけてください。

- 食用金魚草に使用する場合、開花後の花に薬害を生じるおそれがあるので、開花前までに散布してください。また、花に薬害が生じるため、観賞用である(非食用)金魚草には使用しないでください。
- のぞわなに使用する場合には、幼苗期の散布は多湿条件下では薬害が生じるおそれがあるので注意してください。
- しゅんぎくに使用する場合には、幼苗期の散布は多湿条件下では薬害が生じるおそれがあるので注意してください。
- アスパラガスに使用する場合には、高温多湿条件下では薬害を生じる場合があるので使用をさけてください。展着剤の加用はさけてください。
- みずかけな(水掛菜)に使用する場合、ほ場内に水がない状態で使用してください。また、使用后14日間は入水しないでください。
- 本剤を無人航空機で散布する場合は、次の事項に注意してください。
  - ①散布機種 of 散布基準に従って実施してください。
  - ②散布機種に適合した散布装置を使用してください。
  - ③散布中、薬液が漏れないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
  - ④蚕に対して影響を及ぼすおそれがあるので、養蚕で使用する桑葉にかからないようにしてください。
  - ⑤散布薬液の飛散による他の分野への影響に注意して、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
  - ⑥散布終了後は以下の注意事項を守ってください。
    - ・使用後の空容器は放置せず、安全な場所に廃棄してください。
    - ・使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。
    - ・散布終了後、機体の装置は十分洗浄してください。また、薬液タンクの洗浄廃液は河川等に流さないでください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

## 〈うり類(漬物用)、とうがらし類、しそ科葉菜類について〉

- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

## ⚠ 安全使用上の注意

●本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。

●使用の際は不浸透性手袋などを着用してください。

**魚毒性**…使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

**保 管**…直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密栓して保管してください。

さらに詳しい製品情報はこちらから

※QRコードを読み込む、  
またはクリックしてください。

